

平成29年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

## 若狭町地域公共交通会議

平成19年 8月 1日設置

フィーダー系統 平成28年 6月29日 確保維持計画策定

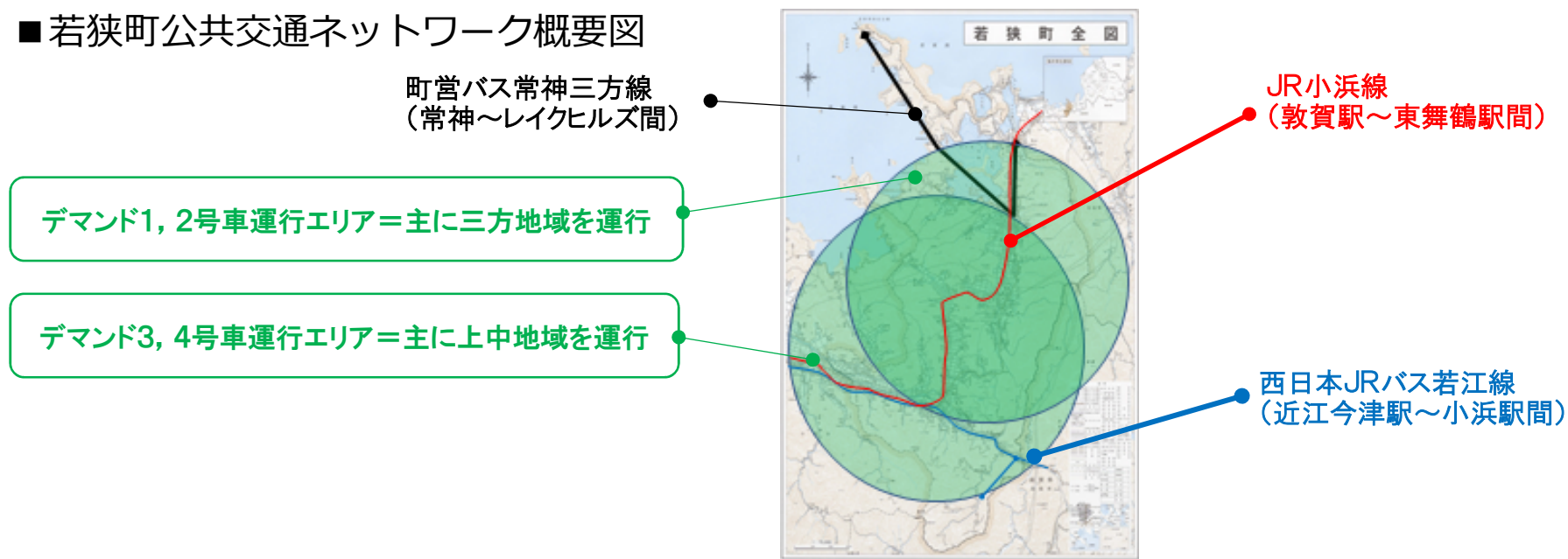
### ■ 地域の特性と背景

- ・ 若狭町は、福井県嶺南地域の中央に位置する町であり平成17年3月31日に、旧三方町と旧上中町が合併して若狭町となった。 人口：15,234人（平30.1.1）
- ・ 公共交通は南北を縦断し隣接する小浜市へ繋がるJR小浜線（敦賀市～京都府舞鶴市）が幹線軸となっており、広域的なネットワークを形成している。また、地域間幹線バスとして、西日本JRバス若江線（滋賀県高島市～小浜市）も運行しており京都、大阪方面へと繋がる幹線である。
- ・ 町内の公共交通利用者は、通学に利用する中・高生と高齢者であり、勤労世代は自家用車での移動が中心である。

### ■ 計画の目指す姿・目標・期間

- ・ 計画の目指す姿：JR小浜線を基軸とする生活交通ネットワークの形成
- ・ 目標および期間：平成29年度の年間利用者数9,400人 乗合い率 1.15人

### ■ 若狭町公共交通ネットワーク概要図



### ■計画の評価に関する考え方、評価方法

町内の交通空白地帯を解消することを目的に「デマンド型乗り合いタクシー」の運行を開始したため、まずは地域住民が認知し利用を進めていく事を第一とする。また、同路線は乗り合いを前提として運行することから「年間利用者数」及び「乗合い率」を評価指標として定めたが、目標値については実績値を鑑みて今後見直していく。また、町営バス常神三方線には目標値こそ定めてはいないが「デマンド型乗り合いタクシー」の空白地域を埋めるだけでなくJR小浜線へのアクセス可能な二次交通であることから、乗車人数を注視していく。

### ■評価指標、目標値、実績値

#### ○デマンドタクシー

評価指標	試行運行期間実績値	目標値		
	27年8月～28年3月	28年(4～9月)	28年(10月～9月)	29年(10月～9月)
年間利用者数	6,035人 (12ヵ月換算9,052人)	4,600人 (12ヵ月換算9,200人)	9,400人	9,750人
乗合い率	1.10	1.13	1.15	1.2

実績値		
評価指標	28年4月～28年9月	28年10月～29年9月
年間利用者数	5,666人 (12ヵ月換算11,332人)	11,011人
乗合い率	1.13	1.16

#### ○町営バス常神三方線（平成28年10月～平成29年9月実績値）

乗車人数	対前年度比
21,054人	96.1%

### ■ 具体的取組み内容

- ・ 高齢者の集まるサロンに赴いての説明会や、地域包括支援センターのスタッフへの説明
- ・ 病院や福祉施設等に周知チラシの設置とともに、窓口スタッフへの協力依頼等を行った。
- ・ 乗り合い率の向上へ向け、地域の高齢者が集いやすい文化施設や高齢者向け運動施設（ゲートボール場等）への周知チラシの設置を進めた。
- ・ また、タクシー運行事業者（運転手等）は、その都度の利用者からの質問に丁寧に対応・説明を行っている。

### ○ デマンドタクシー利用者乗車場所実績（～平成29年12月までの累計）

順位	乗車場所	施設分類	利用率
1	PLANT 2	商業施設	28.3%
2	レピア	商業施設	15.1%
3	上中病院	医療機関	12.8%
4	レイクヒルズ美方病院	医療機関	11.9%
5	パレア若狭	文化施設	6.6%
6	JR三方駅	駅	6.6%
7	JR上中駅	駅	6.1%
8	関根医院	医療機関	4.7%
9	菜の花薬局	医療機関	4.4%
10	千葉医院	医療機関	3.5%

■ 生活交通確保維持改善計画に揚げられた目標値についての評価

自己評価結果（平成28年10月～平成29年9月）

評価指標	目標値	実績値	達成状況
年間利用者数	9,400人	11,011人	達成
乗合い率	1.15	1.16	達成

・ 目標達成状況についての考察

年間利用者数：地域サロンへの周知や、町内施設へのチラシ配布の効果もあり地域住民への周知が広まり目標値を達成することができた。

乗合い率：制度への認識が広まったことにより乗合い利用の増加に繋がった。また利用者の増加に伴って、効率的な運行を行うことを運行事業者自身が努めたことも原因の一つと考えられる。

・ 今後の方針

引き続き年間利用者数と乗り合い率の増加を目指し、引き続き地域公民館や文化施設等の複数の住民が同一の目的地へ向かう際の交通手段としてPRを進めていく。また、年間利用者数の目標値について実績に応じて見直しを行っていく。

上記自己評価について平成30年1月17日に若狭町公共交通委員と協議を行った。

■ JR小浜線、西日本JRバス若江線など幹線への影響

JR小浜線の三方駅、上中駅から小浜線に乗り換える利用者は依然として多数おり、公共交通を乗り継いで目的地向かうという動きは定着しつつある。ただ今後控える新幹線開業により、駅から観光地へと向かう2次交通としての役割を持つ可能性も考えられる。

### ■ 目標の達成状況に関する課題

#### ・ 目標の妥当について

年間利用者数については当初の想定以上の利用があり、目標値を大きく上回ったため目標値の見直しを行っていく。乗合い率については目標値と大きな乖離は見られないので現在の目標値は妥当であったと思われる。

### ■ 公共交通ネットワークに関する課題

#### ・ 広域連携に関する課題

デマンドタクシーが幹線に乗り換える手段として定着して来てはいるが、域内全域の住民に対して町営バス常神三方線も含め、公共交通を乗り継いで目的地に向かうという移動方法に対する認識を持ってもらう必要がある。

### ■ 公共交通の維持に関する課題

#### ・ 地域全体の住民への認識に関する課題

交通弱者に対して制度の認識は持たれているが、免許返納者など公共交通に頼る必要が無かった世代の認識が不足しているため、そのような世代への制度の周知と場合によっては利用促進を進めていく必要がある。

#### ・ 運行エリアについて

町内の一部区間がデマンドタクシーの運行エリアに至っていないため、同じ町内の住民の中で受けられる公共交通サービスに格差が生じているのが課題であり、地域公共交通会議で課題解消に向けて検討を進めている。

平成29年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

## 若狭町地域公共交通会議

平成19年 8月 1日設置

フィーダー系統 平成28年 6月29日 確保維持計画策定

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
なし		



- デマンド型タクシーは利用者を登録制で行っていることから、登録申請手続きが完了したことを申請者に伝えると同時に利用方法について理解されているか確認を行っている。以上のことから以前に比べて利用者からの苦情やトラブルはほぼ無くなっている。また福祉関係部署や地域の高齢者サロン等への周知を行ったことにより、地域の民生委員やケアマネージャーの方から登録の申請や制度についての問い合わせも多々あり、交通弱者本人だけでなくその周りを取り巻く方々にも制度について認識してもらうことができた。

利用者数・乗合い率の増加だけではなく高齢者が外出しやすい環境づくりを進めることにより、地域の活性化へ繋がるようにとの考えから文化施設や高齢者向けの運動施設を中心にチラシの配架を行った。地域の活性化に繋がるまでには時間が要するとは思われるが今後も継続的に進めていき、公共交通を通じた地域発展へと寄与していきたい。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年 1月17日

協議会名: 若狭町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】  ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
オオギ観光タクシー 大和交通(株)	デマンドタクシー(三方地域発便) デマンドタクシー(上中地域発便)	事業評価無し	A 計画通り適切に事業が実施された	A 計画通り適切に事業が実施された	乗り合い率の向上へ向けた未利用者への周知及び地域間公共交通サービス格差の是正

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成30年 1月17日

協議会名:	若狭町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	JR小浜線を基軸とする生活交通ネットワークの形成を目的とし、JR小浜線の利便性向上、利用促進、利用者のニーズに応じたバスサービスの提供、地域住民との協働による持続性の高い取組体制づくりを目指す。